

## 自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]													
(1) 理念の明確化													
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	6	14			<ul style="list-style-type: none"> <li>『その人らしさ』のある生活の継続に援助出来ている。</li> <li>ご利用者が安心して生活できるように行っている。</li> <li>理念を掲げ、実現できる様にアセスメントやミーティングを行っている。</li> <li>理念を踏まえ安心して在宅生活が継続できる様、サービス提供に努めている。</li> </ul>	17	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅生活の継続に向けて、安心できるサービス提供体制を整えて頂いている。</li> <li>理念は明確になっています。</li> <li>理念が明確であり、それに基づいて実践できていると思う。</li> <li>「その人らしさ」のある生活を一緒に考え対応して頂いています。いつも助かっています。</li> <li>理念を掲げてサービス提供を行っている。</li> <li>介護医療連携会議時に研修や改善点等の報告があり、職員みなさんで取り組んでいると思います。</li> <li>利用者、の多様化によりサービス提供も家族の意向を踏まえた上、基本理念をしっかりと理解し取り組んでいかれることを願います。</li> <li>当町内会に貴社のような施設があることが大変ありがたく思います。当町においても高齢世帯、単身高齢者も多数います。大変なお仕事ですが感謝の気持ちしかありません。評価は『大変助かっており、感謝の気持ちです。』</li> <li>わがままな時にも笑顔で対応してもらいたい。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策として優先業務を定める等、利用者・職員の安全や理念の実現に努めている。</li> </ul>	

①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	5	14		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の年間計画や個別計画を立てることによって理念を認識することが出来ている。</li> <li>・チームミーティングを通して意見交換が行われ、事業所の理念の認識にも繋がっている。</li> <li>・個別研修シートや研修を通して認識を深めている。</li> </ul>	7	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・認識しています。</li> <li>・理念は常に見えるところに掲げ、月一回や週一回など決めて唱和する、などでより意識できると思います。意見交換の際には、どの行為や計画が理念と結びついているかなど、具体的にすると理解しやすい。</li> <li>・フェニックスネット等活用し、チームでの情報共有が図られていると思います。</li> <li>・ほぼできていると回答した職員数が、できていると回答した職員を上回っているため、より全員が理念を理解できると良いと思います。</li> <li>・理念を理解するための、「年間計画、個別計画」とはどのようなものでしょうか。</li> <li>・意見交換や個別研修シート、研修を通じ深めた「認識」について具体的に記載があると分かりやすいと感じました。</li> </ul>
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーター)の判断能力などの向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	3	15	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時対応時の判断能力については経験により身に付いている部分も多いので新しい職員でも対応できるような仕組みや研修は今後必要だと思う。</li> <li>・介護計画書の研修を行えたのは良かった。オペレーターの研修があれば望ましい。</li> <li>・毎月研修を設け、時間を分けるなど参加しやすいような設定になっている。</li> <li>・オペレーターの経験が少ない職員にはコミュニケーション方法等をしっかりアドバイスしている。</li> <li>・職員のスキルアップを目的とした研修計画を策定し、専門技術の向上の場を確保している。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響により法人、外部研修が少なかった。</li> </ul>	4	15		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の機会を確保されており、今後の業務に活かして頂きたい。</li> <li>・どここの事業所も研修は計画していると思うので、研修の内容を立案時に決定していけば良いと思います。</li> <li>・コロナの終息がまだ見えていないため、研修方法なども検討していく必要があると思います。院外研修も必要と感じます。(Webの利用など)</li> <li>・経験の少ない職員でも、経験のある職員と同等の判断がある程度できるような、マニュアルのようなものがあるのでしょうか。</li> <li>新型コロナウイルスによる行動制限はまだしばらく続きそうなので、そのような状況下でも研修が受けられるような方法を検討することが望ましいでしょうか。</li> <li>・色々研修されている様で感心しました。オペレーターの研修は大変だと思いますが、出来ると良いですね。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で研修への参加や実施も難しくなっていると思います。私達も含め、今後の研修会等の在り方も変化しながら対応や工夫が必要だと思います。</li> <li>・左記の評価等を活かして取り組んでいかれることを期待します。</li> <li>・研修の仕組みやオペレーターのアドバイス体制等の実施結果や内容が分かると評価しやすいと思います。</li> <li>・「できていないことが多い」と回答している2名の方の意見を取り入れながら、よりスキルアップに生かされればと思います。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない こと が多 い	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない こと が多 い	全 く でき て い ない	事業所コメント
<b>I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]</b>												
<b>(2) 適正な人材の育成</b>												
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	1	18	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>経験年数や能力に応じた調整がされている。</li> <li>職員それぞれの能力に合わせ、無理なくサービス提供できるよう業務調整が行われている。</li> </ul>	2	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度も「できていないことが多い」と回答されている方がいらっしゃいます。それぞれの能力に応じた業務調整と共に、サービスの質の差をあまり生じさせない取り組みも必要ではないかと思えます。「できていない」点の改善策の検討、取り組みも有効ではないでしょうか。</li> </ul>
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	7	13			<ul style="list-style-type: none"> <li>研修や日々の業務における報告、連絡、相談を密にとり相互理解を深めている。</li> <li>タブレットを用いての情報共有の他、それ以外でも状況確認や直接でのコミュニケーションの機会もある。</li> <li>研修等を通してそれぞれの相互理解の場が設けられている。</li> <li>併設している訪問看護ステーションと直接情報交換でき、情報が伝わりやすい。</li> </ul>	10	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレットでのやり取りもあり、電話での報告もあり機会は色々あります。</li> <li>訪問看護との併設の強みがあるので、利用者にとっても助かっていると思えます。</li> <li>同法人間での介護、看護の情報共有はできていると思われる。</li> <li>タブレットの使用で状況把握しやすくなっています。</li> <li>タブレットを用いて随時情報共有が行われていると思えますが、今後も研修等を通してより相互理解を深めていかれることを期待しております。</li> <li>タブレットの活用だけでなく、直接的な情報共有の機会も設けてられており、専門職間の相互理解・認識が図られていると感じる。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき が多 い	全 く でき ない		でき ている	ほ ぼ でき ている	でき が多 い	全 く でき ない	
<b>I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]</b>													
<b>(2) 適正な人材の育成</b>													
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	4	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の状態に合わせ、柔軟にシフト変更も行っている。</li> <li>・利用者のニーズに対応できる様、細かなシフトの組み方が出来ていると思う。</li> <li>・デイサービスやショートステイ、受診等で訪問調整が必要な場合も柔軟に対応出来ている。</li> <li>・特定のご利用者への配慮として一定の職員で対応している場合もある。</li> <li>・同性介助を希望される方に対しては柔軟に対応している。</li> </ul>	4	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、シフト作成においては、いろいろな面でご苦勞頂いていることと感じております。</li> <li>・限られた人員の中で、利用者のニーズに応じたシフト調整は大変なことと思います。</li> <li>・利用者のニーズを引き出し今後も対応して頂きたいと思ひます。</li> </ul>		

②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	1	19				<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善策などサービス提供に反映するよう努めている。</li> <li>・開催後に要望をサービス提供に反映させているかどうかは分からない。</li> <li>・会議の内容や情報が伝わってこない事もあると思う。</li> </ul>				4	17		<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議実施後の事業所の周知状況は分かりませんが、会議への出席など配慮されていると思います。</li> <li>・できていると思います。</li> <li>・会議の内容を出席者以外にも伝達する方法は会議報告や議事録の回覧ですか？なるべく多くのスタッフが会議に出席出来ると良いと思います。</li> <li>・会議には限られた人しか参加しないため、それをどのように職員に伝え、どのように活用していくかが重要だと思います。要望を何かしらの形でサービスに反映させているとしたら、評価を捉えることで次につながると思います。</li> <li>・なかなか会議が開催しにくい状況ですが、色々と工夫されていると思います。</li> <li>・事業所コメントを重視し、情報共有ができるとうれしいとおもいます。</li> <li>・会議を適時適切に開催し、改善策など反映するよう努めている。</li> <li>・介護医療連携会議時に研修や改善点等の報告があり、職員みなさんで取り組んでいると思います。</li> <li>・増々、会議の内容が専門的になり、なかなか適切な受け答えが分からず、また、会議の回数も少なくなり会議後の情報も伝わってこない事も次回出席時の不安材料になっている。</li> <li>・素人の私にとって聞くお話は全てにおいて役に立つお話で大変感謝しておりますし、今後の町内会運営に活かしていきます。活かしていきます。</li> <li>・会議の内容を職員全体に情報共有し、引き続きサービスの提供等に反映していけるとよいと思います。</li> <li>・介護・医療連携推進会議は適切に開催されているが、会議開催による成果について現時点では判断できない。</li> </ul>
---	---------------------------	---	---	---	----	--	--	--	---	--	--	--	---	----	--	--

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い ない	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い ない	全 く でき て い ない
事業所コメント				外部コメント							
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]											
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備											
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	8	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットでの共有や電話でのやり取り等で情報共有がスムーズである。</li> <li>・タブレットにて迅速に情報共有は行われているものの、内服薬の変更について共有出来ていないことがあった。</li> <li>・土日休日のケアプランセンターへは状況に応じて週明けに連絡を入れるなどして情報共有に努めている。</li> <li>・タブレットを通じて様々な職種と迅速に情報が共有出来ていると感じる。</li> <li>・タブレットの活用により、より重要な情報は「変化あり」や「異常あり」にし、直ぐに確認できる様工夫している。</li> <li>・情報の更新が必要と思われるものもある。</li> </ul>	9	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェニックスネットを活用することにより、日々の状況を迅速に共有出来ていると思う。</li> <li>・タブレットがあるのでスムーズに共有できています。</li> <li>・タブレットは医療と介護の連携のツールとしてはとても有効だと感じています。</li> <li>・タブレットを活用し、情報共有はできていると思われるが、確認者のチェックがあるとなおよいと思います。</li> <li>・タブレットの使用で情報共有がすぐにできる様になっているかと思えます。</li> <li>・いつも早めに情報提供いただきありがとうございます。</li> <li>・随時連絡を頂いており助かっています。但し事業所によってかなり差があるように思います。</li> <li>・内服薬についての情報共有が出来ていなかった原因はもう解決しているのでしょうか。</li> <li>・タブレットが有効に活用されていることがよく分かります。</li> <li>・「情報の更新が必要と思われるもの」とはなんのでしょうか。直接全職員で話し合う機会を設けることは難しいこととは思いますが、必要に応じ迅速にチームで検討、対応することも重要と感じました。</li> <li>・</li> </ul>

(5) 安全管理の徹底

①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	1	17	2												6	15														
							<ul style="list-style-type: none"><li>・災害対応については訓練等定期的に行い身に付いてきている。防犯対策についてももう少し具体的に対策を講じる必要がある。</li><li>・防災訓練など研修が行われている。</li><li>・防災訓練などは事業所で建物内で行っているが、訪問中の災害や夜間訪問中の出入りは未だ怖く感じることがある。</li><li>・水害などで避難が必要な場合に対して、状態に応じて連絡体制等の必要な情報をまとめている。</li></ul>																										
													<ul style="list-style-type: none"><li>・深夜帯の訪問もあり、大変なことと思います。職員の安全管理に配慮されていると思います。</li><li>・マニュアルがあると思うのでできていると思います。</li><li>・訪問中の災害や夜間の防犯対策について教えてください。</li><li>・災害時の対応については比較的以前から取り組んでいるものがあると思いますが、日常の業務の中で毎日夜間の出入りがある中、確実な防犯対策マニュアルがあると職員は安心して仕事ができると思います。</li><li>・今の時期ですと感染予防も安全管理の中に入るのでしょうか。難しいところかと思いますが。</li><li>・災害について定期的に対策を検討されている様子がうかがえます。(まもーる通信の活用も良いと思います。)</li><li>・防災訓練などの研修を行っている。</li><li>・介護医療連携会議時に研修や改善点等の報告があり、職員みなさんで取り組んでいると思います。</li><li>・地域の中で 何ができるか連携を密に話し合い、訓練を事業所側と共有して対策の確認をしていきたいと思う。常に安全運転を心掛け、地域内ではスピードを落とし曲がり角などは気を付けて欲しい。利用者の安全も大事ですが、職員の安全第一で行動して頂きたい。</li><li>・防災における当町の拠点は貴施設となっており、防災訓練にも参加させて頂いております。人の命を預かる大変な仕事ですが、頼りになる皆様のサービスです。よろしく願います。</li><li>・安全運転の研修も必要でないか(時間に追われても絶対に事故をおこさないため)</li><li>・防犯ベル、携帯電話等で気を付ける。</li><li>・左記の評価を踏まえて職員の安全管理を徹底されるとよいと思います。</li></ul>																				

②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	9	11			<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回は必ず倫理研修を行い、個人情報の取り扱いについての注意点を再確認している。</li> <li>・以前よりも紙媒体の書類の情報の取扱は特に注意している。</li> <li>・ご利用者宅でタブレットを開く際は横から覗かれることが無いよう対策が必要だと思う。</li> <li>・タブレットは鍵のかかる書庫で管理されている。</li> <li>・タブレットにはパスワードで保護されている。</li> </ul>	15	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の取り扱いについて、引き続き慎重にお願いします。</li> <li>・できていると思います。</li> <li>・個人情報保護について厳重に対策を講じられている様で安心です。参考にさせていただきます。</li> <li>・個人情報に関わるマニュアル等がありますでしょうか。</li> <li>・タブレットの取り扱いでは注意が必要です。自分達だけ知っておきたい情報と他サービスと共有した情報の区別が難しい所です。</li> <li>・研修を行うなどして管理者及び職員に教養されている。</li> <li>・介護医療連携会議時に研修や改善点等の報告があり、職員みなさんで取り組んでいると思います。</li> <li>・個人情報保護の取扱いは十分に気を付けて頂きたい。</li> <li>・個人情報の取り扱いについては大変難しい事がたくさんありますので、管理指導が定期的に行うことが必要であり、全員のレベル向上を図ることが必要。</li> <li>・他人の個人情報を特定する話は聞いたことは無く、良く管理されている。</li> <li>・事業評価からも、職員一人一人の個人情報に対する意識は高いのではないかと。引き続き、このままお願いします。</li> </ul>
---	--------------	----	---	---	----	--	--	---	----	---	--	---



タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき て いる	こ と が 多 い ない	全 く で き て い ない	でき ている	ほ ぼ でき て いる	こ と が 多 い ない	全 く で き て い ない		
事業所コメント				外部コメント									
<b>II 過程評価(Process)</b>													
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>													
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>													
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	3	17			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの利用者で一日の生活リズムに着目してアセスメントが行われている。サービス開始後に見えてくる部分も多く、その都度再アセスメントを行っている。</li> <li>・特に定期随時に関しては出来ていると思うが、日勤だけの職員は夜の具体的な状況把握まで出来ていないと思われる。</li> <li>・一日の生活リズムに着目し、アセスメントを行い、そこから必要な訪問回数も考えられていると感じる。</li> <li>・ご利用者の1日の生活リズムでのアセスメントが出来ていなかったケースがあった。また、介護者等の変化に合わせたアセスメントに繋げていきたい。</li> </ul>	3	15			<ul style="list-style-type: none"> <li>・できています。</li> <li>・自己評価の通りだと思います。</li> <li>・生活に着目されていて良いと思います。なかなかその人の生活リズムに添う事は難しいかと思いますが頑張ってください。</li> <li>・職員によつての状況把握の差をどのように埋めるかは今後検討が必要ではないでしょうか。</li> </ul>

		12	介護・看護の両面からの アセスメントが適切に実施 され、両者の共有、つき合 わせ等が行われている	6	14				<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて看護とのアセスメントの共有 は行っているが全てではない。</li> <li>・看護師のアセスメントの確認は何人かの ヘルパーが確認ボタンを押しているが、ヘル パーのアセスメント・モニタリングなどは 看護師が確認しているボタンが少ないと思 う。</li> </ul>	4	14			<ul style="list-style-type: none"> <li>・できていると思います。</li> <li>・お互いにする必要のある事はきちんと話し合いの 中で決めておくと良いと思います。</li> <li>・これまでアセスメント、モニタリングの意味がよくわか らず、連携事業所はそれらを実施しなければならな かったことを最近知りました。すみません。今後は確 実にいき、確認ボタンも押していきたいと思います。</li> <li>・なるべく確認ボタンを押すようにします。見てはいて も確認ボタンを押さないことも時々ありました。</li> <li>・共有が全てできているわけではないようですので、 モレのない工夫が必要ではないでしょうか。</li> <li>・介護、看護のアセスメントの確認については確実に 行われるように現状の課題を両者で共有し解決する 必要があると思います。</li> </ul>
--	--	----	---	---	----	--	--	--	--	---	----	--	--	---

②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	2	16	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の出来る部分、能力や生活リズムをそのまま継続できる様、共に行えば出来そうな部分はサポートする等、その人の生活がより長く継続できる様計画の検討作成に努めている。</li> <li>・現状維持が精一杯である場合が多い。</li> </ul>	3	17		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクと隣り合わせであるが、在宅生活を続けたい利用者、家族の支援をしていると思います。</li> <li>・できていると思います。</li> <li>・未来志向型の計画は大変そうですね。現状維持が精一杯というのはとても分かります。安全・安心の方が先に立ってしまいますし…。</li> <li>・計画は作成で終わりではなく、それに基づいて実行し評価をすることが重要なので、ぜひその点も踏まえて作成できるとよいと思います。</li> <li>・たしかに現状維持がやっとのケースは多いと思います。しかし、現状維持できている事はとてもすごい事だと思います。</li> <li>・その人らしい生活に合わせ対応していただいているが、事業所コメントで現状維持が精一杯と意見も拝見でき参考になりました。</li> <li>・自立支援の考え方(援助)について、ご利用者が受け止められないケースもあり、「してくれなかった」「自分でするようにと言われた」等の声も間々聞かれ、難しいところですね。</li> <li>・「現状維持で精一杯」とありますが、それで生じている問題があるならば、現状維持ではなく早急な検討、対応が必要と考えます。また「できていないことが多い」の回答は少数ではありますが、そう感じている点からの改善策も必要ではないでしょうか。</li> </ul>
---	--	----	-----------------------------------	---	----	---	--	--	---	----	--	---

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い	全 く でき て い ない		でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い	全 く でき て い ない	
<b>II 過程評価(Process)</b>													
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>													
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>													
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	19	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活を継続できるよう、今後の変化を予測する為に今の状況、今までの状況把握に努めている。</li> <li>・変化を予測し、ケアプランに反映されるように努めている。</li> <li>・日々の援助においても気付きの視点を持ち、少しの変化においても今後の変化を予測し、情報共有するよう努めている。</li> <li>・利用者の状態変化の予測が難しく、「未来志向型」の計画作成が出来ているのか判断しにくい。</li> <li>・ご利用本人やご家族の意向等もあり、難しい面もある。</li> </ul>	2	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療者との情報共有等により、状態変化やリスク管理を行いながら援助をお願いします。</li> <li>・できていると思います。</li> <li>・いつもと何か違う、少し変だと思ふ気づきを大切に、それをスタッフと共有することで状態変化に気づけたり、重症化を防ぐきっかけとなると思います。</li> <li>・先を予測する事は難しいことも多いと思います。</li> <li>・未来志向型プランは個別援助計画のみの問題ではないため、全体を含めた(他事業所)チームプラン(マスタープラン等)が共に計画を行っていく事が大切だと思います。</li> <li>・定期随時訪問することで状態の変化にも早く気づいてもらえると思います。左記の通り、ちょっとした変化においても今後の変化の予測ができ、情報共有、連携しながら対応して頂いていると思います。</li> </ul>				

(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し

①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	11	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コールにて随時に訪問したり、受診日によって訪問日時を変更している。</li> <li>・利用者のその日の様子を見て、いつもと違った様子や不安な時などは随時で訪問したり、コール対応で援助を行っている。</li> <li>・追加訪問の必要時は直ぐに対応している。</li> <li>・訪問時のご本人の状況や体調に応じて、またはご本人の希望(コール)に応じて随時訪問を追加している。</li> </ul>	7	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コール対応やご利用者の状況変化に対応し、柔軟なサービスの提供ができていると思います。</li> </ul>
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	9	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回モニタリングを行い、変化があった時はその都度ケアマネに連絡を取っている。</li> <li>・毎月モニタリングを行い、状況変化に確認を行っている。</li> <li>・毎月のモニタリング実施にてご利用者の変化の把握に努め、必要に応じて援助の追加、変更等を検討出来ている。</li> </ul>	6	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できている」の回答がより増える工夫があると良いと思います。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない こと が多 い	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない こと が多 い	全 く でき て い ない
<b>II 過程評価(Process)</b>											
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>											
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>											
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	9	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアについては勝手に判断せず、看護の指導・助言を受けたり、サービス自体を看護に依頼している。</li> <li>・内服など介護職が出来る部分、出来ない部分があり、看護職と役割分担が出来ている。また、排便の状況を看護に報告し、下剤を調整したり、排便を看護よりしてもらっている。</li> <li>・研修後、特にヘルパーが出来る事、出来ない事が各々把握出来ているように思う。それにより役割分担が行われていると思う。</li> </ul>	9	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・できています。</li> <li>・訪問看護より訪問回数が多いことが多いので、利用者の変化にも気づきやすいと思います。頼りにさせていただいています。</li> <li>・まだまだ介護、看護間でできること、できないことの把握が不十分なので、これはできる、これはできないと教えていただきたいです。</li> <li>・軟膏塗布や湿布の貼布等がどこまでお願い出来るのか、事業所毎に微妙に違いがあり考えてしまう事があります。</li> <li>・評価の通り、研修等を通して振り返り、看護と介護それぞれの役割分担、専門性を生かした柔軟なサービスの提供に今後もつなげていってください。</li> <li>・介護、看護の専門性を生かし、役割分担、連携がされていると思います。しかし、「ほぼできている」が「できている」を上回っている点が気になりました。</li> </ul>
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	6	14		<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の変化が見られた時は相談している。看護のアセスメントやモニタリングにより指導・助言を受けている。</li> <li>・センター内研修、ヘルパー研修の中でも看護職の立場からの指導、助言を頂いている。</li> <li>・毎月看護師よりアセスメント実施、その中でヘルパーに対する指導、助言もありその内容に沿って援助している。</li> <li>・タブレットを活用し、看護からの助言、指導が行われている。</li> </ul>	6	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・同法人内では出来ていると思います。他事業所間ではまだまだな気がします。</li> <li>・連携事業所の役割としてアセスメント、モニタリングが必要なことがわかったので、規定に則り実施していきたいと思っています。</li> <li>・こちらもしっかりとアセスメント、モニタリングをしたいと思っています。</li> <li>・昨年度より「ほぼできている」という回答が増え、「できている」が減少しているようです。今後も連携、助言、指導を行い、より質の高いサービス提供に努めただけであればと思います。</li> </ul>

(4) 利用者等との情報及び意識の共有

①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	6	14			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回サービス開始前に説明はしているが、ご利用者が理解されていないのか、途中で苦情に繋がることもある。分かりやすい表現を心掛ける必要がある。</li> <li>・十分な情報共有を行っていると思う。</li> <li>・契約時に契約書類を基に説明を行っている。</li> </ul>	5	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定額制の安心感が利用者家族へ先に浸透してしまうと、本当に必要な援助がまわらないことも開始前に説明が重要だと思います。</li> <li>・説明に時間がかかるとは思いますが、今後も分かりやすい説明を期待します。</li> <li>・自立支援の考え方(援助)について、ご利用者が受け止められないケースもあり、「してくれなかった」「自分でするようにと言われた」等の声も間々聞かれ、難しいところですね。</li> <li>・利用者や利用者家族によって理解の仕方が違うと思います。必要に応じ、再度説明をする等、引き続き対応していただければと思います。</li> <li>・「苦情に繋がることもある」とありますが、どのようなもので、どのように対応されましたか。</li> </ul>
---	------------------------------------	----	---	---	----	--	--	---	---	----	--	---

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき ている	こ と が 多 い ない	全 く で き て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	こ と が 多 い ない	全 く で き て い ない	事業所コメント	外部コメント
<b>II 過程評価(Process)</b>													
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>													
<b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>													
②	利用者等との 目標及び計画 の共有と、適時 適切な情報の 提供	20	作成した計画の目標及び その内容について、利用 者等に十分な説明を行う など、共通の認識を得る ための努力がされている	3	17			<ul style="list-style-type: none"> <li>十分に説明を行い同意を得ている。</li> <li>ご利用者本人が目標を理解されている ケースは少ないと思うが、ご家族も含め、 適宜説明を行う努力をしている。</li> <li>作成した計画や目標を丁寧に説明して いる。忘れてしまうことが多い方に対しても 安心して頂けるよう言葉を選び説明に工 夫している。</li> </ul>	4	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>状態変化に合わせ、目標の変更など随時行っ ていると思います。</li> <li>今後も必要に応じ、その都度説明、確認をしな がら対応をしていただきたいと思います。</li> </ul>
		21	利用者の状況の変化や、 それに伴うサービス提供 の変化等について、家族 等への適時・適切な報告・ 相談等が行われている	9	11			<ul style="list-style-type: none"> <li>いつもと違う様子(状況)があった時は事 務所や日中リーダーに連絡し、その後看 護師やご家族に連絡している。</li> <li>早めの報告に努め、必要時サービス機 関への相談も行っている。</li> <li>連絡ノートを活用やご家族が不在の場合 は直接お伝えするなど、適時様子の報告 を行っている。サービス内容や援助の追 加等は事業所内でも検討すると同時にご 家族、ケアマネに報告相談している。</li> </ul>	10	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の訪問時の気付きが利用者の早期発見に繋 がります。引き続きお願いします。</li> <li>いつも早めの対応、報告に感謝しております。</li> <li>そのように対応して頂けますと早期対応に繋が りますので今後もお願いします。</li> </ul>



2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント

(1) 共同ケアマネジメントの実践

①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	7	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングにてご利用者の状況を伝えている。</li> <li>・フェニックスネットが繋がっていても見えないケアマネもいるため、その都度電話連絡している。</li> <li>・タブレット上での申し送りや担当ケアマネが併設事業所の場合は直接情報共有を行っている。</li> <li>・担当者会議や事前訪問にてサービス提供時間等をケアマネ、ご利用者、ご家族と相談し決めている。</li> </ul>	6	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェニックスネットで日々の様子、変化を把握できており、大変ありがたいです。</li> <li>・いつも早めの対応、報告に感謝しております。皮膚状態等、写真も添付して頂くので助かっています。</li> <li>・随時連絡を頂いており助かっています。但し事業所によってかなり差があるように思います。</li> <li>・定期巡回をされているので、訪問回数もケアマネより圧倒的に多いことから状況の変化等察知されたら情報共有することだけにとどまらず、積極的な提案をして頂けることを希望します。</li> </ul>
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	1	19		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて行っている。インフォーマルサービスについては更に情報収集が必要。</li> <li>・確認し合い、変化に対応している。</li> <li>・サ責を中心にケアマネへの提案を行っている。</li> <li>・アセスメントを行い、必要に応じて援助追加の必要性がある際はケアマネに報告している。</li> </ul>	4	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォーマルサービスなど必要時に、情報交換をお願いしたいと思います。</li> <li>・今後も是非提案よろしくお願ひします</li> <li>・家族状況や経済的状況も十分踏まえた上で、ご提案いただきたいと思っています。</li> <li>・地域のインフォーマルサービスも積極的に活用する視点を持ち、提案していただけると良いと思います。包括にも地域の情報等お声かけ頂ければいつでも情報提供、連携させていただきます。</li> <li>・昨年度もインフォーマルサービスの活用について質問があったようですが、活用した事例等はありませんか。</li> <li>・インフォーマルサービスの情報収集はどのように行いますか。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い	全 く でき て い ない	外部コメント	
II 過程評価(Process)													
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント													
(1) 共同ケアマネジメントの実践													
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	3	17			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルスの影響で担当者会議が少なくなり、大きな変化が無ければ照会となっている。照会での情報共有もある。</li> <li>・コロナウイルスの影響で担当者会議が出来ない時期もあったが、タブレットや電話で情報共有に努めた。</li> </ul>	5	14			<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議、意見照会という形で専門的意見を頂いております。</li> <li>・タブレットのモニタリングやアセスメントで情報提供されています。</li> <li>・自己評価の通りできていると思います。</li> <li>・照会での情報共有が増えていて私達としてはとても残念な所です。</li> <li>・フェニックスネット等で常に情報共有、意見交換ができありがたいです。</li> <li>・コロナ禍のこともあり担当者会議は照会文や電話等で行われていたかと思いますが、状況に合わせた方法で多職種との情報交換に努めて頂けると良いと思います。</li> <li>・照会とサービス担当者会議を開催した時の違いはどうでしょうか。また、照会の場合サービス担当者会議の目的を達成できていると感じましたか。</li> <li>・また課題がありましたら、どのような対応策を講じましたか。</li> </ul>

(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献

①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	13			・必要に応じて管理者、サ責がケアマネに相談報告している。	3	12		・担当者会議、意見照会という形で専門的意見を頂いております。 ・家族状況や経済的状況も十分踏まえた上で、ご提案いただきたいと思います。 ・地域資源やインフォーマルサービス等包括からも情報提供できることがあればさせていただきますのでご利用ください。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	15			・退院時などカンファレンスにて情報共有し、必要なサービスを提供できている。また、フェニックスネットを通して病院とも直ぐに情報交換出来ている。	3	14		・カンファレンス開催など必要に応じて行っています。退院後などの状態変化に合わせて相談しています。 ・自己評価の通りできていると思います。 ・退院支援のみならず、入院時にも情報提供等連携することでスムーズに切れ目のない介護・看護サービスを提供し、安心して在宅生活の継続ができるとうよいと思います。 ・フェニックスネットの活用や必要時適切な機関と情報共有しており、切れ目のないサービス提供ができているのではないかと。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価								
				実施状況				実施状況								
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない					
事業所コメント				外部コメント												
II 過程評価(Process)																
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント																
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献																
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている <u>(※任意評価項目)</u>	2	12					3	11					・様々な場面で多職種連携を意識しながら活動し、必要時には積極的に提案をして頂けると良いと思います。

3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画

(1) 地域への積極的な情報発信及び提案

①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	3	16	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内でいつでも見れる様になっている。</li> <li>・タブレットにて会議の内容が共有されている。</li> </ul>	9	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な共有方法は分かりません。</li> <li>・できていると思います。</li> <li>・自己評価の通りできていると思います。</li> <li>・事業所内でいつでも見れる状態が取られている。</li> <li>・介護医療連携会議時に研修や改善点等の報告があり、職員みなさんで取り組んでいると思います。</li> <li>・自由閲覧できる様ですが、推進会議の課題や問題を職員間でどの様に共有出来ているのでしょうか？</li> <li>・会議に参加させて頂き、得る情報が大変役立っております。プライバシーの問題もありますが、当町内の情報を許す限り提供お願いしたい。</li> <li>・議事録が作成してあるようだが、今年度は確認していない。会議で決まった方針が書いてあれば、会議の成果が分かりやすいと考える。</li> </ul>
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	6	13	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙作成、配布により理解を深めるきっかけになっている。</li> <li>・「まもーる通信」にて積極的に地域へ理解を広めている。</li> <li>・広報誌を3か月に一度発行し、地域のスーパーや町内回覧を行っている。</li> </ul>	10	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧板を通して活動の周知が出来ていると思います。</li> <li>・できていると思います。</li> <li>・参考にさせていただいています。</li> <li>・まもーる通信など、ためになることが書いてあると思いました。</li> <li>・いつも広報誌ありがとうございます。</li> <li>・広報誌を作成し、配布するなど広報されている。</li> <li>・介護医療連携会議時に研修や改善点等の報告があり、職員みなさんで取り組んでいると思います。</li> <li>・「まもーる通信」により、地域への情報発信に繋がっていると思う。</li> <li>・当町内会においては貴施設は11班として毎月1回の定例役員会に参加して頂き感謝しております。提供して頂く情報も役に立っております。</li> <li>・回覧板などで見れる。</li> <li>・地域にも広報誌等により積極的に発信されていると思います。</li> <li>・今年度は確認していないが、定期発行されているようなので今後も継続してほしい。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない
事業所コメント				外部コメント							
II 過程評価(Process)											
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画											
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画											
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	1	16	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>あまり理解していないため、行政の掲げている方針や計画も理解していけるよう努力したい。</li> <li>理解できていない職員も多いのではないかと思う。</li> </ul>	1	10	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアの推進に向けた医療・介護連携の推進は、市の基本理念や基本方針を理解していくことが大事になるかと思います。</li> <li>昨年度より少しずつ「できている」が増え、「できていないことが多い」が減っています。少しずつでも理解が深まるよう今後も取り組んでいただければと思います。</li> <li>地域包括ケアシステムや方針、計画について事業所として職員へ向けて周知する機会はありますか？</li> </ul>
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	7	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の建物より地域の方が多。</li> <li>広報誌を通して地域にも働きかけている。</li> </ul>	5	10	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域にも出て頂いており、夜道など大変だと思っています。感謝しています。</li> <li>広く地域へ展開されており、ありがたいです。</li> <li>広報誌等での地域への働きかけの結果等が分かるという評価や今後の対策を検討しやすいのではないかと思います。</li> </ul>
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <u>(※任意評価項目)</u>	6	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の問題からまちづくりに係る観点に視野を広げるところまではできていない。</li> </ul>	7	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>介護・医療連携推進会議や地域ケア会議他様々な会議等で個別ケースの課題解決のみならず、地域の課題にも目を向けながら関係機関と共有し、課題解決に向けて発信できるとよいのではないかと考えます。</li> <li>難しい課題だと思います。今後も運営推進会議や地域ケア会議、地域行事等、今ある取り組みを職員全体で理解、活用しながら、まちづくりに係る問題の認識、改善に向けて視野を広げていただければと思います。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価								
				実施状況				実施状況								
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い	全 く でき て い ない					
事業所コメント				外部コメント												
<b>Ⅲ 結果評価(Outcome)</b>																
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	1	19					9	14					<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の訪問介護では不足している訪問を補えるよう定期随時の特性を生かして援助してもらっています。</li> <li>・変化が感じられる利用者、そうでない利用者があるので、まあまあできているのではないかと思います。</li> <li>・実際はなかなか目標達成できないことが多く、看護計画を立案する時にも苦慮しますが、計画が目標に則って具体的であると達成率も上がるのだと感じました。</li> <li>・ニーズに応じた計画を作成し、実施している。</li> <li>・介護医療連携会議時に研修や改善点等の報告があり、職員みなさんで取り組んでいると思います。</li> <li>・利用者、家族にとって大変ありがたいサービスです。安心して在宅生活を送れていることは良いと思います。</li> <li>・他人の世話をすることは大変な事と理解できますが、改善を進め改悪にならないようよろしくお願いします。</li> <li>・モニタリング、評価をされていると思いますので継続して目標達成のため、チームで取り組んでいかれることを期待しております。</li> <li>・目標達成に向けて工夫・努力が感じられる。</li> </ul>

②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	6	14			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の笑顔を見ると安心出来ていると思う。</li> <li>・夜間訪問もあるため、安心感に繋がっていると思うが、常に誰かに居て欲しいと思われて独居の方の在宅生活の継続は難しいのではないかと思うこともある。</li> <li>・訪問する中で、ご利用者より安心感を口にして頂くことが多くあり、サービス導入が安心感に繋がっていると感じる。</li> <li>・満足度調査アンケートにて評価頂いている。</li> <li>・随時訪問した際に、実際にご家族より「呼ぶと来てもらえるので助かります」「来てもらって良かった」などの言葉を頂くことがあるので安心感に繋がっていると思う。</li> <li>・看取りを希望された方に対し、訪問回数を増やしたり、多職種と連携しながら自宅で看取りを行った実績がある。</li> </ul>	15	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な時に必要な援助を提供して頂くことで、ご本人だけでなく、ご家族の意向に寄り添った支援をお願いできています。</li> <li>・安心感はあると思います。</li> <li>・在宅生活を支えている大きな要がヘルパーさんだと思っています。利用者にとって家でno生活を安全・安心に出来ることは本当にありがたいと感じています。大変でしょうがこれからも頑張ってください。</li> <li>・他にはない素晴らしいサービスだと思います。ますます需要は増えると思いますし、介護職が生活の一番近いところにいる職種だと思います。今後も活躍を期待しています。</li> <li>・夜間帯に決まったスタッフさんが訪問して下さるので、皆様安心して生活できていると思います。</li> <li>・今後も需要が増えていくと思います。皆様の実績が地域にも広がって来ていると思います。今後も在宅でも安心して暮らせる様、活用させて頂きたいと思っています。</li> <li>・同感です。今後ともよろしくお願ひします。</li> <li>・安心感が得られるようサービスも導入している。</li> <li>・介護医療連携会議時に研修や改善点等の報告があり、職員みなさんで取り組んでいると思います。</li> <li>・自宅での看取りは家族にとっても大変不安と負担の多いものです。家族への寄り添いも心掛けて頂けると嬉しいです。</li> <li>・当町内にも単身の高齢者もおおり、たまに自宅へ伺い話をすると、多種多様の方がおり、対応も大変と思います。早め早めの対応をお願いします。</li> <li>・安心して利用出来ている。</li> <li>・ご利用者の心身の状況に応じて、定期的な巡回訪問や随時コールの対応などが行われることで、要介護高齢者の在宅生活を重度者であっても24時間365日支えられ、安心して在宅生活が継続できるサービスとして重要な役割を果たされていると思います。</li> <li>・定期巡回随時対応型訪問介護看護の特徴でもある在宅生活が安心して継続できるよう、利用者へ寄り添ったサービスを実施している。利用者や家族からも「安心」の声が聞かれており、良いと思う。</li> </ul>
---	----------------	----	---	---	----	--	--	---	----	---	--	---